



# みらいグリーンマップによようこそ！

みらいグリーンマップは、この夏、全国の子どもや学生がいっしょにつくる  
グリーンマップ・プロジェクトです。

未来をつくるのは君たち・・・、だから、みらいグリーンマップ。  
未来のために大切なものを探して、グリーンマップとして記録しましょう。

そして、その地図を世界のグリーンマップに仲間入りさせましょう。  
グリーンマップ・アイコン（絵文字）は世界共通なので、世界のお友達とつながります。











グリーンマップは、全部で125個あるグリーンマップ・アイコンを使ってつくる環境地図。  
これまでに世界の40以上の国で作られています。

この夏休み、自分の住んでいるところのグリーンマップをつくって、  
秋には世界のグリーンマップの仲間に入りましょう。

## おもなグリーンマップ・アイコン

Green Map Icons Copyright 2003 Green Map System, Inc.



<p>みち 道の目立つ大きな木や、神社にある古い木など。木の種類や歴史も調べてみよう。</p>	<p>おかわ 小川や池があったら、安全に水に近づいて遊べる場所を探そう。そこに何かがあるかな？</p>	<p>くるま 車にじゃまされずに、さんぽを楽しんだり、遊べる道を探そう。木が多い道は快適だ。</p>	<p>さくら 桜などの花の咲く木や野の花や草など。よく手入れのされた庭や植木鉢の花でもいい。</p>	<p>みんなでいっしょに遊べる場所、人気のある公園など。ひみつの場所もあるかな？</p>
<p>りっぱな木</p> 	<p>水と親しむ場所</p> 	<p>さんぽ道</p> 	<p>きれいな花や草</p> 	<p>子どもにやさしい場所</p> 
<p>小さな生き物</p> 	<p>やすらげる場所</p> 	<p>資源の再利用</p> 	<p>自転車に乗ろう</p> 	<p>悲しい場所</p> 
<p>こん虫やちょうちょ、カエル、などの小さな生き物が住んでいる場所を探そう。</p>	<p>歴史の感じられる場所、大きな木の下できもちの良いところなど。座れると落ち着くね。</p>	<p>いらなくなった物でも、それが必要な人にまた使ってもらえれば、資源のむだがない。</p>	<p>自転車は地球にやさしい乗り物だ。自転車で走りやすい道や自転車屋さんを探そう。</p>	<p>ゴミでよごれた所や、車がなくて危ない道、自然がこわされているところなど、めいわくなこと。</p>

これは最小限のグリーンマップ・アイコンのセットです。このアイコンだけで簡単なグリーンマップの制作ができるように考えられています。

# みらいグリーンマップづくりのすすめかた

## 1. 取材の準備をする

まず、取材するところの地図を用意しよう。地図帳や道路地図を大きくコピーして、それに書き込んでよい。図書館に行くと、地図のコピーをさせてもらえる。よく知っているところならば、歩きながら自分で地図を書いてみよう。



書きこむ用紙は何まいかに分けて書くと細かく調べられる。あとでつなげることもできる。グリーンマップ・アイコン表を書き込み用紙といっしょにクリップで画板にとめる。鉛筆、方位じしゃく、水筒をもち、はきなれたくつでね。

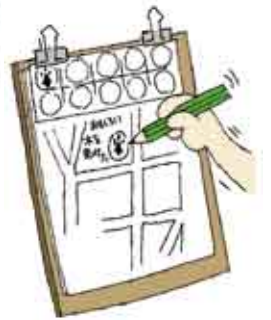


## 2. 外で取材をしよう

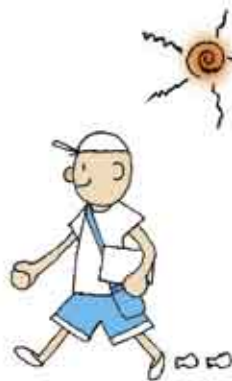
水辺を観察すると、きっといろいろな生き物がいるよ。



気持ちのよい道、安全な道を選ぼう。ゆっくりと歩くといろいろな発見があるはずだ。表通りだけでなく、裏道にもおもしろい発見があるかも。



おじいさんに、昔の近所の様子について話を聞いてみよう。

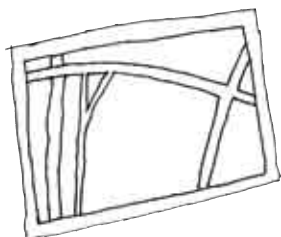
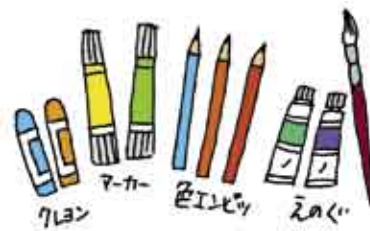


アイコンに合ったものを見つけたら、その場所にアイコンを書き込むかシールを貼ろう。そして、忘れないように説明文を書いておこう。

## 3. 地図をつくろう



まず、画用紙を用意する。大きな道からかき始めよう。ぜんぶの道をかく必要はないが、歩いてよかった細かい道などはいていにかいてみよう。



クレヨンや絵の具などを使って色をつけよう。木が沢山あるところ、川や空き地などを色の違いで表してみよう。



取材の書き込み用紙とグリーンマップ・アイコン表をみながら、よく考えてアイコンを地図の上に貼ってこよう。ひとつの場所にふたつ以上のアイコンがつくところもあってもよい。適当なアイコンがない場合には、自分で新しいアイコンのデザインを考えてみよう。



まちなみのようすや、大きな建物、たくさんの木が生えているところなど、地図の上にイラストで表現してみよう。取材したことを簡単な文章で書き込むと、わかりやすい。



自分で特に気に入った場所、あるいは、大事なと思う場所をひとつ選ばう。そのアイコンは、特別にふちどりをしてください。(ふちの色は自由です)

#### 4. おすすめの場所をひとつ選び、絵を描く

お気に入りの場所を見つけたら、スケッチや絵で表してみよう。紙の大きさは自由だ。ひとの形をいっしょに入れると、ものがどのくらいの大きさなのか、わかりやすく伝えることができる。そして、その場所がなぜお気に入りなのか、あるいは大事なのか、その理由を文章で書いてみよう。



何人かのグループでひとつの地図を作っているときは、ひとり、ひとつずつ、おすすめの場所を選んでスケッチや絵、説明の文章を書いてよい。スケッチや絵のかわりに、写真を使ってもよい。



地図には、かならず北の方角を示すマークをつけよう。このマークがないと、地図を見る人は困ってしまう。楽しくデザインしよう。



できあがった地図には、名前を付けよう。まちの名前でもよいですが、ほかの人が同じ名前をつけるかもしれません。自分のテーマを生かした名前にしましょう。例：○○町さんぽみちマップ、○○公園周辺グリーンマップ、○町リサイクルマップなど。

## 5. できたグリーンマップを世界に公開しよう

出来上がったグリーンマップなどを9月20日までに、みらいグリーンマップ事務局にお送り下さい。10月20日頃にみらいグリーンマップのホームページに掲載されます。(※注)

あなたがグリーンマップを作った地点をクリックすると、あなたのグリーンマップとおすすめの場所の写真などが表示されます。全国のお友達がお互いのグリーンマップや写真を見ることができ、外国のお友達もあなたの作品を見ることができます。

お送りいただくもの：

### 1. あなたのグリーンマップ

以下のいずれかのかたちでお送り下さい

- A. グリーンマップの現物
- B. 作品を撮影した写真のプリント
- C. デジカメで撮影したデータ (CD-R等のメディアのみ)

ホームページに掲載する都合で、大きな作品の場合は、部分的な紹介となる可能性もありますことをご了承下さい。

### 2. おすすめの場所の紹介 (あなたのグリーンマップで一番重要だと思う場所)

以下のいずれかのかたちでお送り下さい

- A. おすすめの場所の絵、あるいはスケッチの作品現物
- B. 上記作品を撮影した写真のプリント
- C. 上記作品をデジカメで撮影したデータ (CD-R等のメディアのみ)
- D. おすすめの場所を撮影した写真のプリント、あるいはデジカメデータ ( // )

### 3. 登録用紙 (本キットに同封)

決められた用紙に以下の情報と連絡先などをご記入下さい。

おすすめ場所の簡単な説明文 (200文字以下)

おすすめ場所のグリーンマップ・アイコン (アイコンシールをお貼り下さい)

グリーンマップの名前、あなたのニックネーム、提出作品の返却の希望の有無、など

作品等の返却を希望される場合には、宅配便着払いにて、撮影後に返送いたします。

提出締め切り日：2004年9月20日 (消印有効)

作品の提出先：

〒158-8558 東京都世田谷区上野毛 3-15-34

多摩美術大学内 「みらいグリーンマップ」係

電話番号 03-3702-1141

質問等は、Eメール、あるいは郵便によるもののみ受け付けます。

Eメール：mirai@greenmap.jp

最新の情報は、下記ホームページをごらん下さい。

<http://greenmap.jp/mirai/>

グリーンマップ・スターキットの内容

「みらいグリーンマップのすすめかた」(本紙)

「レッツ・グリーンマップ!」小冊子

アイコンシール (大) 主要なアイコンのみ

アイコンシール (中) 全125アイコン

登録用紙

※注： 次のような場合、ホームページに掲載できませんので、十分にご注意下さい。・グリーンマップに自分の家の場所など、特定の個人宅の位置がわかるように表されている。・特定の個人とわかる顔写真が含まれている。・記載された内容が、特定の個人や商店などのひぼう、中傷、営業妨害にあたるかと判断される。

みらいグリーンマップのすすめかた 2004年7月7日発行

制作：みらいグリーンマップ・プロジェクトチーム  
グリーンマップ・ジャパン

多摩美術大学大学院  
コミュニケーションデザイン専攻 堀内正弘研究室

広島大学大学院  
工学研究科建築意匠学研究室 千代章一郎ゼミナール

協力：朝日新聞社

協賛：富士写真フイルム株式会社



朝日新聞  
創刊125周年

富士フイルムは、グリーンマップの活動を応援しています。

FUJIFILM  
I&I-Imaging & Information